

**豊高SGH**  
**フェアトレード班**  
**通信**  
**2015年**  
**4月30日**  
**第1号**

フェアトレードとは途上国の生産者を対等なパートナーとし適正な価格で継続的に取引してフェア（公正）なトレード（貿易）をめざす取り組み。

**フェアトレード班 課題の紹介**

春休みに教頭先生から出された課題についてメンバーが書いてきたものから、伊田が重要に思った部分をピックアップして紹介します。課題の内容は『イスラームの日常生活』か『イスラームを知ろう』のどちらか一冊を読んで、感想と新たに気づいたことをそれぞれ四〇〇字で書いてくるといふものでした。全員が出してくれました。（期限遅れはいたが）イスラーム理解の第一歩になったでしょうか。

☆イスラームは恐ろしい宗教だとして理解しようとしなかったが実際は寛容な宗教であった。よく考えてみればそんな恐ろしい宗教であれば世界中に広まっているはずがない。イスラームに対して偏見を持たないようにしなければ、と思った。（M）  
『イスラームを知ろう』

☆この本を読んで、イスラームについての知識のなさを改めて痛感しました。これからニュースなどでイスラームのことを目にしたときには違う目線でイスラームについて考えることが出来ると思います。（N）  
『イスラームを知ろう』

☆イスラームの人々は人間が弱いことをいさぎよく認める。これが男も女も手首、足首までの長い衣服を身につけ、女はベールをつけるまでのことをする理由だと始めて知りました。（A）『イスラームの日常生活』

☆「イスラームに絶対という事はないのだよ」ヨルダンの村のある教団の団長が著者言ったこの言葉ムスリムの方がそれほど厳密な生活をしているわけではないのだと安心しました。（W）『イスラームを知ろう』



☆アラビア語の先生は異文化である刺身を受け入れ、結果刺身を好きになっていった。そういうふうには、私たち日本人も異文化を受け入れる事はとても大事だなと思った。（O）『イスラームを知ろう』

☆（礼拝や断食）はその行為の一つ一つに意味があり、ムスリムの人達からしたら僕たちが歯を磨いたり顔を洗ったりするくらいに当たり前のことだということに衝撃を受けたし、これが文化の違いなんだと改めて実感しました

た。この文化の違いをしっかりと認識して世界中の人々とわかり合えると思います。（M）  
『イスラームを知ろう』

☆イスラームとしての決まり事はたくさんあるが場所によって多様性があるならその場所ごとについて調べ、どのパターンが一番多いのか調べて見たいと思った。（W）  
『イスラームを知ろう』

☆本を読んだ限りでは、今問題になっているような、イスラム国や過激派組織へとつながるようなところは無いように思えたので、どうしてそうなっていくのかということを知りたいと思いました。（I）『イスラームの日常生活』

☆（調べたいと思ったのは）日本人のムスリムや日本に住んでいる他国のムスリムについて、つまり日本とイスラームの関係についてです。それらの人は実際にどのような生活をしていてどのように感じているのだろうかと思いました。（S）  
『イスラームの日常生活』

☆西欧におけるイエス・ノーの代わりに神あらばという表現が使われていて驚いた。（F）

これから「課題研究」をやっていく上で、具体的な場面でのムスリムの方々との交流や交渉の場面が出て来ます。そのときのために、今回の課題をきっかけとして、さらに多方面の知識や考え方を深めるようにしていきます。（伊田）